

通信

NO. 116
2022年9月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

今月の
スケッチ

オクラ



近所の友人から頂いたオクラの苗が、プランターで、次々に花が咲き実をつけます。

スタ
コラ

「空念仏」か、「鬼の空念仏」か 大隈 信夫

「空念仏（からねんぶつ）……
①信心もないのに、もっともらしく念仏を唱えること。また、念仏を唱えるふりをする。②実行の伴わない口先だけの主張や宣伝。」……今の政府・自民党

の姿勢を表しているが、国民にはもう見透かされている。

それは、岸田文雄内閣の支持率が急激に低下し、最低の記録を更新していることに表れている。

これは、靈感商法や「日韓海底トンネル」など常軌を逸した寄付金集めや家庭崩壊を招く

「信仰」など、反社会的組織と批判される旧統一教会（世界平和統一家庭連合）と、岸田内閣の閣僚や自民党所属議員との底知れない関係が明らかになっているにも関わらず、組織としては何ら調査もせず国民の疑惑を招いているからにはほかならない。

岸田首相は、「国民からのご指摘については真摯（しんし）に受け止めなければならない。さまざまな声を受け止め、日本の直面する課題に全身全霊で取り組み、使命を果たしたい」と述べている。

しかし、第二次改造内閣の組閣に当って「問題が指摘される団体との関係を注意しなければならない」と言って着手したはずだが、フタを開けてみると、政務三役（大臣、副大臣、政務官）78人中、教団との関連があった議員は35人にも上り、識者からは「もはや“統一教会内閣”。統一教会と関連のない議員だけでは、内閣を作ることができなかつたのでしょうか。」と批判され、その後も、ゾクゾクと関係が露呈される事態となっている。政府と自民党は、統一教会と閣僚ら政務三役の関係について「個人の政治活動に関するもの



昇る名月
地を這う高架

満月が地上の喧騒とは無縁に九州新幹線の高架の上に悠々と昇った

で、調査を行う必要はない」とする閣議決定をしていたが、慌てて、急遽、独自に調査するとした。

しかし、幹事長名での議員へのアンケートに過ぎない。

これでは「空念仏（からねんぶつ）」どころか、「鬼の空念仏（おにのそらねんぶつ）………容赦なく亡者を責め立てる地獄の鬼が念仏を唱えるわけもなく、仏心など少しもない鬼が殊勝ぶって念仏を唱える」という意味。冷酷で無慈悲な者が情け深そうに振る舞ったり、言ったりする。冷酷残忍な人がうわべだけ慈悲深くみせかけること。また、柄にもなく殊勝にふるまうこと」である。それこそ、旧統一教会（世界平和統一家庭連合）と同一の姿勢に通じるようにも思える。



Relationship & Partnership
B ビジネス総研

<https://www.b-souken.com>



映画大好き
の山ちゃんが、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

トップガン マーヴェリック



監督：ジョセフ・コジンスキー
出演：トム・クルーズ
マイルズ・テラー
ジェニファー・コネリー
エド・ハリス
ヴァル・キルマー
2022年 米：パラマウント

空前の大ヒットを記録した映画「トップガン」。

主演のトム・クルーズを一躍トップスターへと押し上げた‘80年代を代表する名作スカイ・アクションの続編。

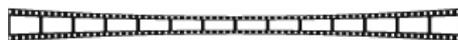
本物にこだわる圧巻の飛行シーンは、各機内に搭載した6台のカメラで撮影され、“トップガン”の一員として搭乗しているかのような体感ができる。

続編の製作権を36年間誰にも渡さなかったトムは、自らトレーニング・プログラムを作成して若いキャストたちに毎日の目標を設定した。

5ヶ月間の飛行訓練では7.5Gや8Gをその身に受け、血液がすべて脚に流れ込むのを感じながら「G-LOC」と呼ばれ

る意識不明にならないように耐性をつけていたという。

“誰も見たことのない映像”
を体感あれ…。



くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

立憲主義と「国葬」

岸田文雄首相が国会に諮ることもなく唐突に言い出した安倍晋三元首相の「国葬」をめぐる国会閉会中審査が行われました。

岸田首相は、「(安倍元首相の国葬は)国全体として故人に弔意と敬意を表する儀式だ」と述べています。

しかし、「国葬」それ自身がなんら法的根拠もなく、岸田首相自身が、「国葬」をおこなう法的根拠について糺されて、「国葬儀について具体的に定めた法律はない」と認めました。

また、当初、国民の税金の支出を2億5千万円としていましたが、国民の声とマスコミの報道の中で、積算根拠も示さず、16億6000万円としました。

それすら、「さらに膨れ上がるのでは」と指摘されています。

岸田首相が「国葬」を閣議決定し、巨額の税金を投じて強行しようとしていることは、特定

の個人を特別視して「弔意と敬意」を強要するもので「すべての国民の法の下での平等」と「内心の自由」を侵すもので、国民主権を掲げる日本国憲法に明確に違反するものです。

また、安倍元首相は、旧統一協会との関係についても密接な関係が取りざたされ、その政治姿勢にも大きな疑問が指摘されています。

もともと葬儀は、「弔意と敬意」を表したい人が独自に行うことはあっても、国民の税金を使い国民に「弔意と敬意」を求めるべきではありません。

国民の疑問や批判に対して、何ら応えられない、今回の「国葬」は、立憲主義とは相いれないもので、即刻、取りやめるべきものだといえます。



編集後記

朝夕は、少し暑さおさまり、虫の音が聞こえる季節になりました。

庭は、雑草の天国になっていますが、春先に地植えしたバラが次々に開花しました。



Relationship & Partnership
B ビジネス 総研

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-409-4177 FAX092-409-4170

Eメール kuma@b-souken.com

<https://www.b-souken.com>